

大学院生命科学研究科「天然物化学特論」特別講義  
私立大学研究ブランディング事業公開セミナー

# 酵素活性の網羅的解析 (enzymomics) に よる疾患関連タンパク質の探索

東京大学大学院・薬学系研究科  
小松 徹 助教

4月20日 (金) 17時00分～18時30分  
2204講義室

生体内には常に数千種類を超える酵素が発現しており、特定の酵素のはたらきの異常が病気の進行と関連する例が数多く報告されています。特定の疾患と関わる酵素の機能を理解することは、病気の診断、薬の開発に直結する非常に重要なものですが、その機能は生体内の種々の要因によって動的に制御されており、いまだに、「疾患との関わりが見出されていない」、「疾患との関わりが示唆されているがそのメカニズムが明らかにされていない」、「疾患との関わり、メカニズムが理解されているが、その機能を制御する手法が確立されていない」といった酵素は数多く存在します。演者らは、酵素の動的機能の理解を可能とするケミカルバイオロジーの研究ツールを開発し、疾患と関連する酵素を「探す」「見る」「操る」ことを目的とした研究を進めて参りました。本講演では、疾患と関連する酵素活性の変化を網羅的に探索する手法 (enzymomics) の開発に関わる演者らの取り組みについてご紹介させていただきたいと思えます。

教職員の皆様のご来聴を歓迎します。

分子生物化学研究室 井上英史 (内線 4330)

